



ルールを守ってこそ、 著作権の許可なしで 利用ができる

ここまでで、他人の著作物を使いたいと思ったときは、著作権法で定められたルールを守って使うということがわかりました。ここから紹介する「引用」も、著作権法で定められたルールのうちの1つです。正しく引用するためには、ルールを守った引用の使い方をする必要があります。たとえば、引用部分はカギカッコでくるなどして区別をわかりやすくすること、他人の著作物がほとんどになっていないこと、「だれの」「どの本や新聞の」「どのWebサイトの」ものなのかの情報を正しく書くことなどです。



はじめに覚えておきたい / 引用するときの5つのルール

1 引用する著作物は
公表された
ものである

2 自分の著作物の
ために引用が
どうしても必要

3 自分の著作物が
中心(主)で
引用はその
一部(従)である

4 引用した部分を
カギカッコ(「」)で
くるなど
自分の文章とは
区別する

5 引用してきた
著作物の情報が
わかるように
明記する

ちなみに引用のルール以外で、他人の文章や写真、絵などの著作物を、自分の著作物などにのせることを「引用」と区別する意味で「転載」ということがあります。引用とは異なり、転載は著作権者の許可を取って使う必要があります。



引用してみよう 【文章編】

本や新聞などの文章を、自分の文章の中で使うことを文章の引用と
いいます。自分の意見を表現するため、史実を正しく伝えるときに調べ
た根拠になる資料を紹介するためなど、自分の文章を補うことが必要な
ときに文章の引用を行えます。ほかの著作物に引用された文章をさらに
引用することはさげましょう。

引用のポイント

1 カギカッコでくくる

ほかの人が書いた文章と自分の文章は、区別しなければい
けません。そのため、本などにのっている文章を使うときは、
その部分をカギカッコ(「」)などでくくみましょう。



……そこで、ぼくはマークについて調べてみた。「環境
にやさしい材料を使い、つくる人の人権に配慮され、社
会や地域の持続に貢献する商品であることも大事です。こ
のような『エシカル(倫理的な)消費』について、学校
や家庭で話しあってみましょう。その目安となる『エシカ
ルマーク』にも注目しましょう。」と本にも書かれているとおり、

ココが引用された文章だとすぐにわかるね!



……そこで、ぼくはいろいろな商品のマークについて
調べてみた。環境にやさしい材料を使い、つくる人
の人権に配慮され、社会や地域の持続に貢献する
商品には、エシカルマークというマークがついているこ
とがわかった。

これでは、どこが引用した文章かわからないね

カギカッコでくくらない引用もある!

文章の引用で多く使われているのは、カギカッコなどでくくる
方法です。けれども、文章を独立させたり文字のサイズや色を
変えたりして、引用部分を示す方法もあります。以下は「ブロッ
ク引用」といって比較的長い文章を引用する場合に使います。

ブロック引用の具体例

そこで、ぼくは資源のむだづかいについて調べてみた。

1行ほど間をあける

□□環境にやさしい材料を使い、つくる人の人権に配慮され、
社会や地域の持続に貢献する商品であることも大事です。

1行ほど間をあける

このことから、商品の価格について……

引用部分は
2文字程度
さげて書く



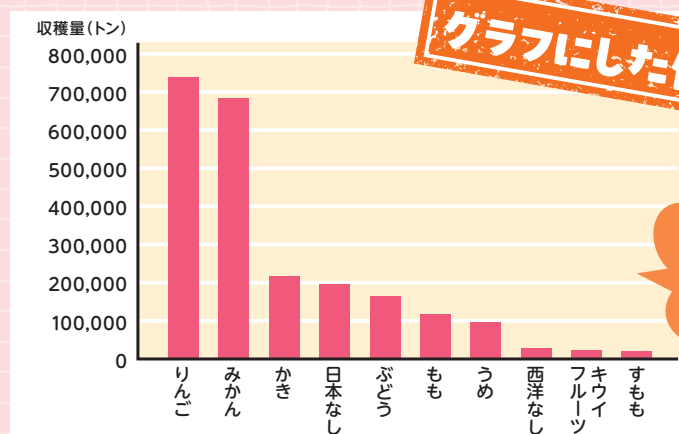
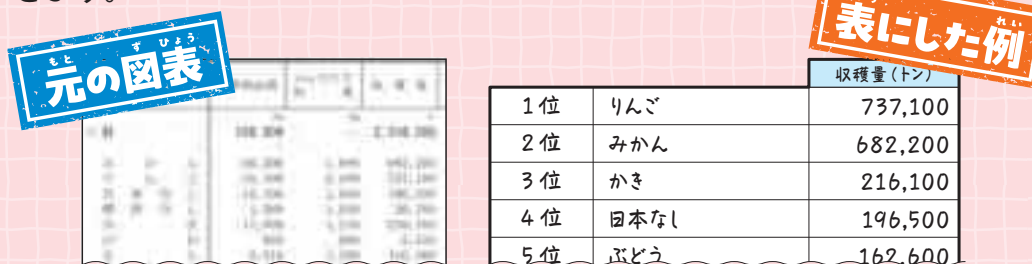
引用してみよう【図表編】

図表の数値を元に 新しい図表を作ることできる！

図表の単なる数値は著作物ではない

20～21ページの例は著作物にあたる図表を引用する場合でしたが、自分の文章中にその数値を抜き出して使うこともできます。たとえば、下の「元の図表」から、「日本で一番たくさん作られている果物はりんごで、令和4年には737,100トン作られました。2番目に多いのは……」などと使う場合です。

また図表の数値を元に、自分で新しい図表を作って使うこともできます。



調べた数値を元に
パソコンでこんな
グラフも作れるよ！

そもそも図表内の単なる数値は著作物ではなく、著作権的な意味での出典や出所のような元となる図表の情報の明示も必要ありません。けれども、自分の文章の客観的な裏づけを示すために役立ちますので、元となる統計や図表の情報を記しましょう。

使う用途ごとにグラフの種類を使い分けよう

数値を視覚的に表現した図表であるグラフは、何を伝えたいかによって適した形状があります。目的にあわせて使い分けましょう。

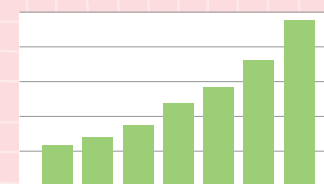
絵グラフ

何のグラフか
すぐわかる



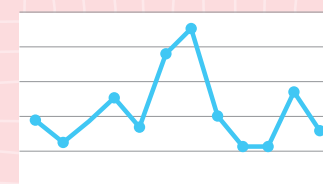
棒グラフ

多いか少ないかが
棒の高さでわかる



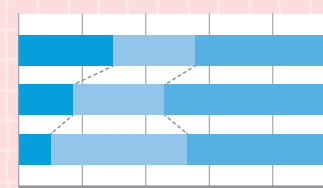
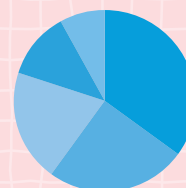
折れ線グラフ

増えているか減って
いるかの変化がわかる



帯・円グラフ

全体の中で
どれくらいかがわかる



柱状グラフ

数値のちがいが
わかる

